

回覧

## 元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6(2丁目会館) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>

## 交通の「足」に不安

百合・緑が丘住民アンケートまとまる 回答率 31%

## 高齢化の影響にじむ、1/26 にシンポ開催

ゲンコミはこの10月、百合が丘、緑が丘地区の維持・再生に向けた住民の生活実態や意識を探る規模の大きいアンケート調査を行った。国交省の大型団地住民活動調査予算を使い、両地区の2,457戸に配布。761戸から回答を得た(回収率31%)。調査結果の分析は東海大建築都市学部・須沢葉講師(写真)チームを中心に行っている。ここでは、最終まとめに入った集計・分析の中から住民が**＜地域生活での不便・困っていること＞**(表左) **＜地域に必要なと思う場所＞**(表右)を中心に紹介する。



不便・困っていることを最大3つまで問うたところ、「公共交通の整備状況」が3割半と最も高く、次いで「気軽に立ち寄れる場所が少ない」、

	件数	割合
日常の買い物・通院が不便	214	28%
公共交通機関の整備状況	259	34%
散歩に適した道や公園が少ない	94	12%
防災や防犯対策に不安がある	136	18%
気軽に立ち寄れる場所が少ない	225	30%
子どもの遊び場や子育て支援サービスが不足	48	6%
介護事業所や介護サービスが不足	57	7%
特になし	158	21%
その他	45	6%
未回答・無効回答	45	6%
母数	761	

	件数	割合
多世代で交流できる場所	154	20%
一人で気軽に訪れることができる場所	386	51%
子どもたちを遊ばせる場所	93	12%
高齢者が集まれるサロン	122	16%
イベントなどが自由に企画できる場所	61	8%
カフェ/居酒屋	263	35%
未回答・無効回答	182	24%
母数	761	

「公共交通の整備状況」が3割半と最も高く、次いで「気軽に立ち寄れる場所が少ない」、「日常の買い物・通院が不便」がそれぞれ3割前後となった。この中の第1、第3位の合計は6割以上になり、神奈中バスの減便などもあって、「移動交通手段」の現状に強い不満を持っていることが明らかになった。このほか、防災・防犯対策(18%)、公園が少ない(12%)、介護事業所・サービスの不足(7%)と続く。「特に

「特になし」が2割あるものの、回答集計からは、徐々に進む住民の高齢化と社会インフラのミスマッチが色濃くにじんでいる。

また、上記回答で「気軽に立ち寄れる場所が少ない」が第2位で全体の3割を占めた関係から、**＜地域に必要なと思う場所＞**についての集計をみたところ、「一人で気軽に訪れることができる場所」がダントツの第1位(51%)。その後は「カフェ/居酒屋」(35%)、「多世代が交流できる場所」(20%)、「高齢者が集まれるサロン」(16%)、「子どもたちを遊ばせる場所」(12%)の順。ここでも高齢化の進展に伴う、これまでとは違ったニーズの高まりが垣間見える。

**裏面**に**＜回答世帯の家族構成＞**と**＜健康維持のために取り組んでいること＞**の集計